

認証評価結果に対する改善報告書

平成28年7月27日

1. 大学名：四天王寺大学

2. 認証評価実施年度：平成27年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-1

○経営学部経営学科の収容定員充足率が0.7倍を下回っている点について改善を要する。

4. 改善状況及び結果

基準項目2-1について

経営学部経営学科の学生数は数年前から減少傾向にあったことから、収容定員の確保に向けて検討を重ねて参りました。そして、平成27年度には以下のとおり4つの改善方策を打ち出し、具体的な取り組みを行いました。

- ①平成28年度より経営学部経営学科を新たに専攻分離し、公共経営専攻及び企業経営専攻として特色づけを行った（資料2-1-01 P1～P2）
- ②学業を奨励し、経営学部の学力水準の向上に寄与することを目的として、優秀な成績を収めた者に対して新たに経営学部総合奨学金制度を創設した（資料2-1-01 P1～P2）
- ③卒業後に民間企業や官公庁等でリーダーシップを発揮し、社会の変化に対応できるようカリキュラム・授業内容を見直した（資料2-1-01 P3～P6）
- ④高校訪問に際しては、経営学部の全教員が4月、7月、11月の年3回131校を訪問（26年度：68校）実施し、積極的な広報活動を展開した（資料2-1-02）

これらの取り組みにより、平成28年5月1日現在での経営学部経営学科1年生の学生数は185名（収容定員160名）、4年生までの在籍学生数は493名（収容定員650名）、収容定員充足率は0.76倍となり、改善が図られました。（資料2-1-03）

今後も、継続的な学生数の確保に向けて、経営学科2専攻の教育プログラムを広く社会にアピールし、学則に掲げる教育目的の達成を果たすべく教育・研究活動を推進させて参ります。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目2-1の資料

- 2-1-01 経営学部経営学科リーフレット
- 2-1-02 高校訪問校数一覧表、経営学部教員依頼一覧表（平成27年度3回分）
- 2-1-03 表F-4（学部・学科の学生定員及び在籍学生数）平成28年5月1日現在

以上